

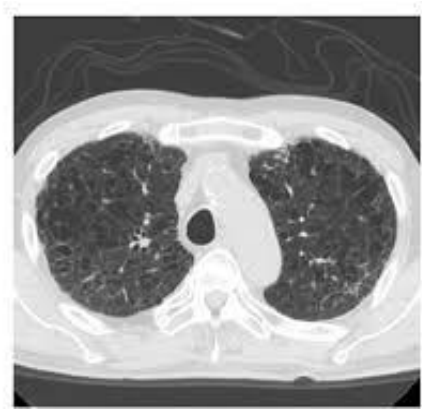
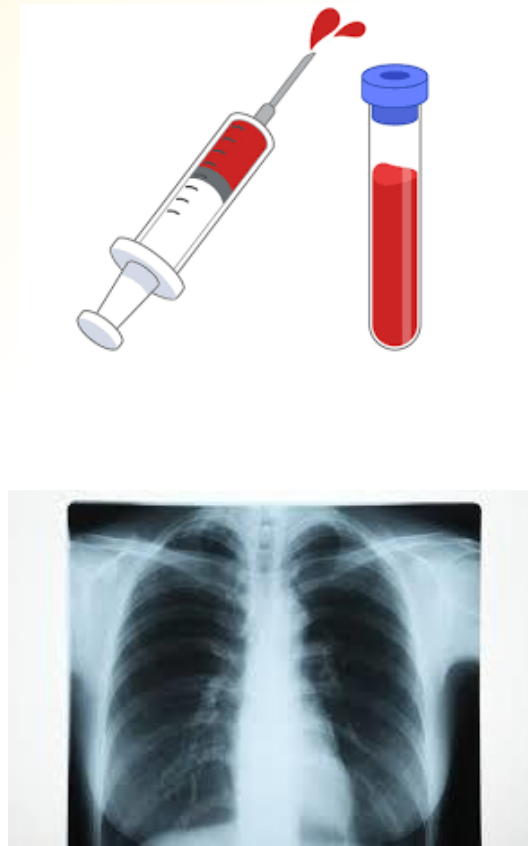
チームで導く確実な診断と 多職種で繋ぐ安全・最善の治療にむけて

北7階病棟 腎臓・リウマチ内科 血液内科

腎臓・リウマチ内科 血液内科の病気って？

腎臓・リウマチ内科は自己免疫性の病気が多く、特に尿が作られる腎臓の障害をうける病気を診ています。治療はステロイドや免疫抑制剤の投薬がおこなわれます。血液内科は主に白血病やリンパ腫など血液の病気です。治療は抗がん薬の投与や造血幹細胞移植がおこなわれます。

病気の診断までの流れ



〈腎生検〉



〈骨髄穿刺〉



〈担当医師〉



〈検査技師〉



〈病理部医師〉



〈腎リウマチ内科〉



〈血液内科〉

問診・触診

血液・画像検査

腎生検・骨髄穿刺

多職種による顕微鏡検査

チームカンファレンス

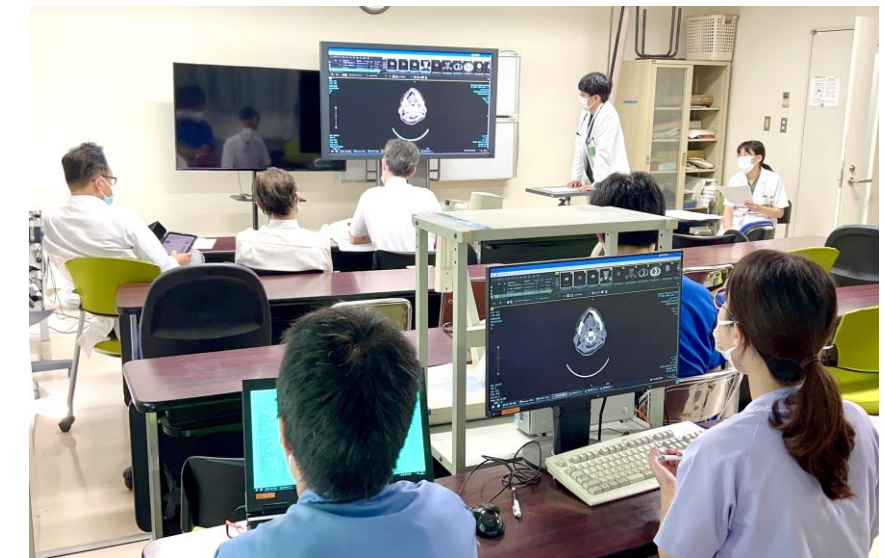
確定診断

診断から治療へ

診断結果から患者さんそれぞれの体調や生活に合わせた最善の治療方法を患者さんにご家族に提案します

《 医師 》

医師は全体カンファレンスで治療方針を共有しチーム全体へ適切な指示を出します



患者さんにご家族へ診断と治療内容について説明し同意を得ています。カルテ閲覧も可能です



北7階病棟のチーム医療

造血幹移植後の患者さんは長期にわたり日常生活に注意が必要であるため移植後の生活について学んだ専門の看護師のフォローアップ外来が開設されています



《造血幹細胞移植後フォローアップ外来》

退院支援部門では患者さんやご家族と相談し退院後の生活のサポートを支援します



《退院支援部門》

抗がん薬投与後の副作用による食欲低下やその他の治療中の食事に対し栄養相談を行います



《管理栄養士》

退院後の生活をみすえつつ出血や感染しやすい状態に注意しながらリハビリを実施します



患者さんの情報を共有し患者さんと一緒に多職種が専門性を発揮して安全・最善の治療をサポートします

週2回多職種カンファレンスを実施し各チームの治療方針を確認しています



造血幹移植の適応となった際は移植コーディネーターが相談にのります



《移植コーディネーター》

抗がん薬やステロイド治療を受ける患者さんは感染しやすい状態のため手洗い手指衛生を徹底し注意しながら看護ケアを行います

《薬剤師》

薬剤師は投与する内服薬や抗がん薬の副作用などの注意点を説明します

当科は抗がん薬や輸血が多いため看護師は投与時のルールを徹底し安全な投与を行います



《看護師》

《言語聴覚士》 《理学療法士》

